

胃バリウム（食道・十二指腸）造影検査



胃バリウム造影検査は、バリウムと空気を用いて食道・胃・十二指腸をエックス線で透視・撮影する検査です。

この検査ではまず、しばんだ胃を空気で膨らませます。

そしてバリウムを飲みます。胃はバリウムの無い状態ではエックス線で観察してもほとんど透明で何もわかりません。

そこでエックス線に良く写るバリウムを胃の壁に塗りつけることにより、細かい胃壁の様子が観察できるようになります。

この検査でわかる病気

食道がん、胃がん、胃潰瘍・十二指腸潰瘍などの潰瘍病変、胃炎、ポリープ、憩室などの胃部疾患の診断に役立ちます。

検査前

- ・ 検査前日の夜9時以降は飲食をしないでください。
- ・ 検査当日は絶食です。食事の他にもタバコ・ガムも厳禁です。検査前に何か口にしてしまうと胃壁を刺激し胃液が分泌されバリウムが付着しにくくなり、画像の良し悪しに影響します。

検査中

検査中は担当技師の指示に従ってください。

最初に胃を膨らませる空気（炭酸ガス）の出る発泡剤を飲みます。

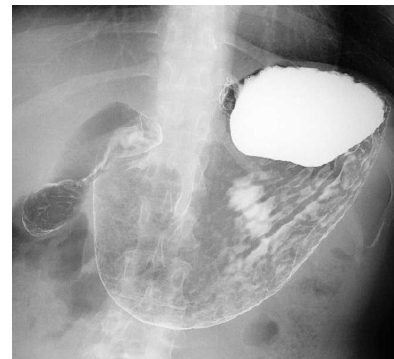
胃が膨らみますのでゲップをしたくなりますが我慢してください。

その後バリウムを技師の指示に従い飲んでいただきます。

撮影台を倒したり起こしたり、身体を回転したりしてバリウムを胃の壁に付着させながら撮影を行っていきます。

撮影時はブレのない写真を撮るために息を止めて撮影します。

検査時間は10～15分くらいです。



検査後

- ・ バリウムが腸に長時間残ると固まって排泄が困難になることがあります。そのため下剤をお渡ししますので飲んでいただきます。検査後、当日は水分を意識的になるべく多く摂って下さい。バリウムは白い便として排泄されます。
- ・ 胃の動きを抑える薬剤を注射した場合、検査後2時間くらいは自動車等の運転はお控えください。目がチカチカしたりピン트가合いにくくなる場合があります。



検査費用

3割負担の場合の窓口お支払金額は約4,000円です。

胃バリウム造影検査Q&A

Q1 なぜ検査前に注射をするのでしょうか？

胃腸の動きを抑えて診断しやすい良い写真を撮影するためです

胃腸は消化のために蠕動（ぜんどう）運動をしています。

その動きを一時的に抑えるために注射をします。

注射をすると

心疾患・緑内障（眼の疾患）・前立腺肥大の症状が悪化する場合があります。

上記疾患のある方は**必ず事前にお申し出ください。**

Q2 なぜゲップの出る薬（発泡剤）を飲むのでしょうか？

胃を膨らませるためです

胃は通常の状態ではしぼんでいます。バリウムを飲んだだけでは胃の壁を細かく観察することは出来ません。

発泡剤（炭酸ガス）で胃を適度に膨らませることにより、ひだの奥に隠れた胃壁の細かい病気を発見することが

できます。そのため検査中はゲップは我慢してください。ゲップをすると胃がしばむため発泡剤を追加

することがあります。

Q3 なぜグルグル回ったり、身体を揺すったりするのでしょうか？

胃壁にバリウムを付着させるためです

胃の壁は消化のための胃液と、胃液の酸から粘膜を守る粘液で覆われています。

そのためバリウムは付着しにくい環境です。

なるべく細かい病気を見逃さないために胃液を洗い流してバリウムを付着させる工夫をしています。

Q4 うつ伏せ（腹ばい）で頭を下げる態勢がきついのですが、なぜあんな格好をしなければならぬのですか？

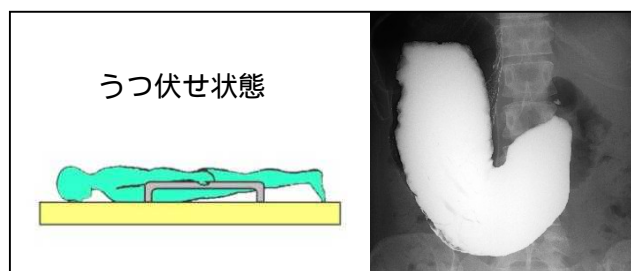
胃の前側の壁を観察するためです。

胃の前側を観察するためにはうつ伏せになりバリウムを胃の前側の壁に付着させます。

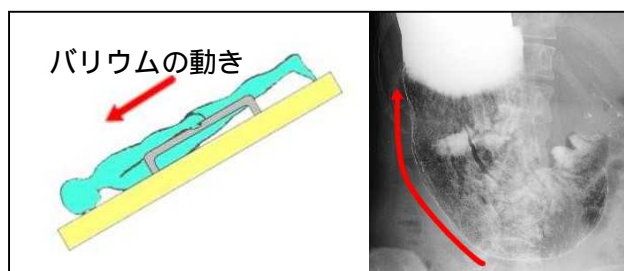
そのままだとバリウムは溜まってしまい、胃壁の観察ができません。（画像1）

頭を下げることによりバリウムが胃の上方へ移動し、前壁の観察が可能になります。（画像2）

安全対策は肩当てを使用し万全を期しておりますのでご安心ください。



画像1



画像2